

科目コード	2684683
クラスコード	K
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	310
科目名	<b>在宅生活と健康を支える看護</b>
定員	40名
担当講師	イシハラ タカコ 石原 多佳子 岐阜聖徳学園大学教授
日程実施時間	<p>■ 4月25日（土）</p> <p>第1時限 9:30～11:00</p> <p>第2時限 11:10～12:40</p> <p>第3時限 13:30～15:00</p> <p>第4時限 15:10～16:40</p> <p>■ 4月26日（日）</p> <p>第1時限 9:30～11:00</p> <p>第2時限 11:10～12:40</p> <p>第3時限 13:30～15:00</p> <p>第4時限 15:10～15:55</p> <p>〈試験・レポート等〉</p> <p>15:55～16:40</p>
実施会場	岐阜学習センター

授業概要

地域で暮らす人々について、地域の特性を知り、人の生涯を継続的多面的に捉え、健康や暮らしの多様性を理解します。地域包括ケアシステムの構築や推進を見据え地域で生活する人とその家族を理解し、様々な場での暮らしを支える看護について学びます。入院・治療後も住み慣れた地域で生活続ける人は少なくありません。病院と地域を分断せず、対象者と家族の生活の基盤を理解し、様々な健康状態にある人々のその人らしい暮らしを支える看護を学びます。

- ①人々の暮らしと多様性について気づき、物理的・社会的環境、地域の文化・人々の関係性を理解し、人々の生活と健康への影響について説明できる。
- ②地域包括ケアシステムの目的と考え方を理解し自分の地域で行われている自助、互助の取り組みや共助、公助について説明できる。
- ③多職種、多機関で支えることの意義を具体的に説明できる。
- ④在宅における療養者や家族の自己決定や尊厳を守ることの意義を具体的に説明できる。

第1回 ○○さんの過去、現在、未来 ○○さんの1日  
第2回 集うこと、集まりとその意義（人と人、社会とのつながり）グループワーク  
第3回 人口・世帯、疾病構造の変化、健康、保健・医療体制の動向（各種データ）から健康に与える影響 グループワーク  
第4回 地域包括ケアシステムの概要とその意義Ⅱ 自助・互助の取り組み・地域づくり  
第5回 在宅看護活動の特徴と役割 -訪問看護を中心に-  
第6回 在宅療養における家族の捉え方（家族看護の視点）  
第7回 時々入院は在宅を支える多職種・多機関連携  
第8回 高齢者虐待防止について考える グループワーク

2日間の集中講義ですので、事前にシラバスを参考に、お住いの地域の介護予防の集まりや、介護が必要になったらどのようなサービスがあるのかなど調べることで、関心事や疑問点を整理しておいていただくと実りある学習につながるかもしれません。なお、グループワークなどの進捗状況に応じて、授業の順序を入れ替える場合があります。

資料はこちらで毎回配布いたしますが、関心のある方は看護学生向けの標準テキスト「地域・在宅看護論」「家族看護学」などお目通しいただくとよいかと思います。

〇〇さんのこれまでの生活について。現在の1日の生活について（〇〇さんはご自身でもご家族・親戚の方、近所の方でもよい）朝起きてから寝るまでの1日の過ごし方、健康や生きがい、大切にしていることなどに注目してインタビュー（お話を聞く）内容を整理したうえで考察しレポート作成。なお個人が特定されない範囲で、対象者の年代や性別、家族構成など基本属性、特記事項（例、配偶者の介護をされている人、大学生、仕事をしながら子育てをしている人、自治会の役員をしている人、育児休暇中の人、等々）データ収集方法は、ご自身のことでなければインタビュー形式（「1日どのようにお過ごしですか」などの会話から健康観や生きがい、大切にしていることを導き出してください。年代、年齢や性別、健康状態、生活歴、環境等によっても一人一人が違います。1限に持ち寄りグループワークの資料にする予定です。

人口・世帯、疾病構造の変化、健康、保健・医療体制に関する動向（各種データ）から健康や生活に与える影響について ①子を産み育てる（妊娠、出産、育児） ②学ぶ（教育） ③働く（労働 就労） ④疾患を治す（治療、後遺症や障害を抱えた生活） ⑤最期を迎える（人生の最終段階）から1～2項目でよい。

レポート作成 A4 1枚程度 参考にしたデータを添付または出典を明記 3限のグループワークで使用します。

事前課題①②と授業終了時の「在宅生活と健康を支える看護について考えたこと」のレポートを成績評価とします。

課題①②のレポートは授業最初に1部提出してもらいますので、提出用とご自身用の2部用意して下さい。

なお、ご自身用のレポートは、グループワーク時に追記したり、考えをメモしたりするために必要です。

集中講義ですので、集中が途切れるかと思います。受講者間で、答えは一つではないので自由な発想で意見交換できるように進めていきたいと思っています。